

朝風

第21号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 萩の郷福祉工場



SENDAI

(平成26年度)

団数 300団
団員 6,762名
指導者 1,798名

退任にあたって

仙台市スポーツ少年団

本部長 安中俊作



心と桜の季節が訪れました。この四月は、市スポ少役員の改選期にあたります。ちょうど二十年という年月を役員として携わって来た私は、七十を数え、退任を迎えることになりました。

当初の八年ほどは、日本スポ少からの特別枠の予算や大塚製薬からの多額の寄附を受け、何度か大規模な交流会が実施され、大変活気にあふれていたことを思い出します。

各単位団も団員集めに苦労することもなく、非常に勢いがありました。その後は、団員の減少傾向に歯止めがからない状況になってしまいました。日本スポ少としてもいろいろと対策を講じておりますが、団員増の糸口が見えておりません。

長くスポ少に関わって来て、親の都合で子どもにスポーツをやらせないケースが多過ぎるのを感じております。五、六歳前後の神経系統が著しく発達する時期にスポーツを体験させてやることは、その後の子どもの人生に大きな財産として蓄えられると考えております。

スポーツを通じて得られる多くの副産物が判らないまま時間を過ごすことは、すぐにもつたいないと感じております。

指導者や育成母集団の皆様の周辺に所在無げにしている子どもを見かけましたら、その保護者の方にスポーツのすばらしさと効用をPRして頂くと共にぜひ、入団の声がけして下さいるようお願い致します。

仙台市スポーツ少年団の更なる繁栄を願っております。



平成26年度 入団式・交流会

平成二十六年年度

仙台市スポーツ少年団 入団式・交流会開催

平成二十六年四月二十日(日)十時
シエルコムセーだいにて仙台市スポーツ少年団の入団式が開催されました。

九十五団 団員・母集団・指導者含め千二百五十八名のみなさまの参加をいただきました。

●ご祝辞

ご来賓を代表いたしました、仙台市市民局文化スポーツ部スポーツ振興課長 佐藤康行様よりご祝辞を頂戴いたしました。

●優秀団員表彰

平成二十五年度の優秀団員として各団より推薦された百十六名の団員が表彰されました。

代表として、燕沢クールヘッズスポーツ少年団佐藤雅也さんに安中本部長より賞状とメダルが授与され、同時に他の受賞者が各団の指導者からそれぞれ賞状とメダルが授与されました。

●誓いの言葉

加藤圭達さん(青葉空手道スポーツ少年団)と白石響子さん(泉柔道スポーツ少年団)が代表し「団員綱領」を元気で宣誓しました。楽しいスポーツ活動を通じて健康な体と心を養うことを全団員ともに誓い合いました。

●交流会

(元)楽天イーグルス杉山賢人さんを講師にお招きし、ボールを使い、だれでも簡単に取り組める身体遊びを通じて、子どもたちの交流を図ることを目的に開催しました。活動種目が違う団が一堂に会す絶交の機会でもあり、五十二団四百六十六名の団員が一堂に楽しい時間を過ごしていました。



▲入団式優秀団員代表(安中本部長から)



▲入団式誓いの言葉

平成26年度 仙台市・白老町歴史姉妹都市スポーツ少年団交流会



平成二十六年年度仙台市・白老町歴史姉妹都市
スポーツ少年団交流会に参加して

片平バスケットボールスポーツ少年団

監督 和野 利哉

私が所属する片平スポーツ少年団がこの交流会に参加するようになったのは、活動する片平丁小学校が白老町の白老小学校と姉妹校ということもあり、スポーツ少年団も交流を行おうとしたことがきっかけです。参加初年度に受け入れを行い、次年度は白老町を訪問しました。その翌年は震災もあり一旦交流はストップしましたが、震災翌年から再開して今年度に至ります。

今年度は前年度に交流した子どもたちが両チームともに多かったことで、子供たちや保護者もとても楽しみにしていました。交流会では交流試合のほか、市民センターの一室に色々な手作りの出店を作り子供たちを歓迎しました。

仙台市、白老町どちらの子供にとっても貴重な体験、思い出ができる素晴らしい交流だと思っています。この交流がこれからも末永く続いていくことを祈っております。





第41回 日独スポーツ少年団 同時交流会



スポーツ交流ドイツ団員を 受け入れて(柔道部会)

市スポーツ少年団

柔道部会長 大宮 正道

柔道は世界中に広まっておりドイツ団員の皆様は強い関心があったと思います。団員の中には武道の心得がある人もおり楽しみにしていたのではないかと思います。最初は表情に硬さがありましたが、徐々に明るくなり笑顔も見受けられるようになりました。

柔道の基本及び心得を説明し、講道館柔道投の形演武を宮城県柔道スポーツ少年団形競技中学生の部で優勝した高橋美奈(初段)、金田悟(初段)組が披露し盛大な拍手を頂きました。その後柔道体験をドイツ団員の皆様に実際にして頂きました。柔道着を着、準備運動から柔道の礼法、受身など基本的な指導をし、その後は実際に練習し修得してもらいました。

当団員の練習風景を見学し納得した様子の彼らと交流の最後に全員で記念撮影をし、笑顔で解散となりました。両団体にとって有意義な時間となったと思います。

少年剣道で日独交流

茂庭台少年剣道指導員 引地 貞利

ドイツスポーツ少年団の来仙日程が決まる前から、当団はすばらしい交流を夢見てプログラム作成に取り掛かりました。

その1 日本文化である剣道をどこまで理解していただくか

その2 伊達武将の「すずめ踊り」軸に「よさこいソーラン」でおもてなし

その3 真夏の相互交流は「冷えたすいか」で

そして、とどめは秋保工芸の里で世界でただ一本のこけしの絵付け。この計画を持ってスポ少本部に提案し、了承され、ここからが当

団の団結の見せどころ、皆が一丸となってリハールに突入し、踊りの講師にアドバイスを受けながら、すずめは小学五年生以下、よさこいは六年生から中学生まで班編成し、私自身納得いくまで取組みました。本番では、こけし造りが最初になりましたが、あとは順番どおりで与えられた持ち時間があつという間でした。

最後に私の感想は、おもてなしの心を発揮すれば、言葉はいらない「目は口ほどにものを言う」とはこのことだと受け止めました。

二十六年度

日独同時交流会について

市スポーツ少年団空手部会 境 健一郎

昨年度、日独同時交流会でドイツへ派遣されましたので、来仙されたドイツスポーツユースの皆様に温かく、お・も・て・な・しをしたいと思います。

泉の武道館で空手の形・実践組手・試割り等を披露するドイツ団員が自分たちもしたいと畳の上に出てこられたときは感激しました。

道衣は柔道部会が用意されたものを着用し練習しましたが、さすがはスポーツマン。それなりに様になっていました。

泉ヶ岳のディスカッションは事前に師範に言われていましたので、原稿を通訳に渡しておきました。通訳を介しての会議は不慣れでしたので、通訳の方とのコミュニケーションも必要だと感じましたが、ドイツ団もいまひとつ乗りきれなかった様でした。B B Qや視察のバスの中などでも、日独団員の席がわか

れていたのが、うまくコミュニケーションが取れなかったのが残念でした。アレルギーの方がおいでだったので食事中など一品ずつ通訳のアドバイスが必要だったそう、席順は

難しかったのかもしれない。

もっと交流を深めるためには、挨拶程度でもいいので「外国語」を覚えなくてはならないと、つくづく感じました。押忍！

日独同時交流を顧みて

リーダー会会長 小笠原由也

まずは、在学中に二度もこの交流会に参加できるとは思いませんでした。

九年前は、あまり意味も解らず、外人の前で空手をすればいいのだと考え、そうして、ご褒美に「泉ヶ岳自然の家」でB B Qや花火を楽しめるのだと思い、泉武道館で空手の形を披露した後、楽しみを胸にバスで山に向かいました。待っていたのは、研修室でのディスカッションでした。

自分が中一であったことも有り、ドイツのスポ少は、「大きいな、大人だな(ほとんど大学生...)」と驚きでした。通訳を介しての会話がもどかしく感じつつも、彼等から積極的にコミュニケーションを取って頂き感激しました。

今回は、自分は大学四年生になり「就活もあり全日参加できませんでしたが、例のディスカッションは昨年ドイツに派遣された後輩の境君に司会を任せました。驚く必要もないでしょうが通訳の方が前回と同じ人でした。その方に教えて頂いたのは、「ワシンセンテンスの長さに気を付けて」でした。ディスカッションで気になったのは「グロバル」なヨーロッパのドイツと「島国」の日本との違いは「ドーピング」に対する考え方でした。

私たちは、教科書で習う程度ですが、彼らは試合前、風邪薬、ドリンク剤もチェックするそうです。スポーツ少年団ですよ。スポーツユースとこの違いかな。

反省点としては、次回は事前に挨拶程度のドイツ語はリーダーを中心に講習会をすれば、もっともっと楽しい日独交流会が出来ると思います。

八年後を期待して！

仙台市スポーツ少年団の情報は ホームページを チェック!!

仙台市スポーツ少年団

検索

<http://www.spf-sendai.jp/sendai-ships/>



仙台市スポーツ少年団のホームページでは、市内で開催される各種イベントや大会研修会等の情報を随時提供しております。イベントのスナップ写真や、各単位団の情報も盛りだくさん！ぜひご利用ください。

平成26年度仙台市スポーツ少年団 指導者・育成母集団研修会並びに 平成27年度登録説明会開催報告

平成27年3月7日(土)
仙台市役所8階ホール
において研修会並び
に登録説明会が開催
され212団・317名の
指導者、母集団が参
加されました。



【第一部】平成26年度 指導者・母集団研修会

〔講話①〕団運営における母集団の役割

〔講師〕佐藤田鶴子氏

〔講話②〕スポーツ時の水分補給

〔講師〕大塚製薬 池永 将士氏

【第二部】平成27年度登録説明会

〔説明①〕スポーツ安全保険とその手続きについて



〔講師〕スポーツ安全協会
宮城県支部

三浦あつ子氏

〔説明②〕スポーツ少年団
登録事務について
事務局

平成27年度本部事業予定 入団式は4月19日 シェルコムせんだいにて

月日	曜日	行事名称	会場
4月8日	水	委員総会	仙台市体育館
4月19日	日	入団式・交流会	シェルコムせんだい
7月31日 ～8月2日	金 ～日	白老町スポーツ少年団交流会 (遠征)	北海道白老町
10月10日 ～13日	土 ～月	ジュニアリーダーズスクール	泉岳自然 ふれあい館
平成28年 2月	未定	仙台市スポーツ少年団 50周年記念事業	市内
平成28年 3月	未定	指導者・母集団研修会 登録説明会	未定

白老遠征募集

歴史姉妹都市 北海道白老町スポーツ少年団との交流事業です！
今年で28回を迎える交流事業、今年は白老町へお邪魔いたします！
詳しい内容や応募につきましては、事務局へお問合せください。

本年も登録はお早めに!!

仙台市スポーツ少年団の登録は

4月1日から8月28日までです。(土・日・祝日を除く)

※AM9:00～PM5:00

※追加登録を含む

平成27年度登録料は(団員950円 指導者1,900円)

若林・宮城野区は(団員650円 指導者1,200円)

*有資格指導者2名以上が必要です。

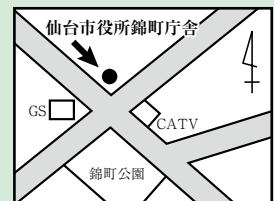
住 所：仙台市青葉区錦町1-3-9

仙台市役所錦町庁舎3F

(公財)仙台市スポーツ振興事業団内

T E L : 022-262-4180 F A X : 022-268-4193

事務局にお越しの際は駐車
場がありませんのでご注意
下さい!



仙台市スポーツ少年団 新規団紹介

平成26年度新規登録団をご紹介します。

- ①愛子バンビーニ男子 種目：バレーボール 13名
- ②愛子バンビーニ女子 種目：バレーボール 16名
- ③アバヴォラルFC 種目：サッカー 17名
- ④富沢少年野球クラブ 種目：野球 18名
- ⑤南材FC 種目：サッカー 25名
- ⑥東六ゴールデンファイターズ 種目：野球 6名

また、活動を休止していたラグビーの少年団
S.R.C.jrも8名で活動を再開いたしました。
新しい仲間を歓迎します。また、ともにスポー
ツを通して交流を深めていければと思います。

一年間の活動を一目でお伝え出来るような広報誌として、こ
数年間「読む朝風から見る朝風」をモットーに作成してまい
りました。読者の皆さま方のご感想はいかがでしょうか！
もっと詳しく知りたい見たいとお思いの方は、是非我がスポ少
の充実したホームページをご活用ください。
欲を言えば皆さま方の生の声もお届けしたかったのですが、
時間と心に余裕がなく記事に出来なかったことが心残りです
が、次年度の担当者にバトンタッチしたいと思えます。
今回寄稿頂きました皆さまには心より御礼申し上げます。あ
りがとうございました。

広報委員会

広報担当副部長
副委員長

委員

吉田 尚・菅野 浩佳
村上 文江
庄司 淳
椎名 二男・遠藤 剛
田村 吉博・阿部 彦
岩井 二朗・山岸 勝彦